

漁撈部

鯉漁業試驗

一、方法經過並結果

本年ハ最初琉球丸ニ二十四名乗込四月下旬ヨリ試驗ニ著手セシガ、六月迄ハ鹿兒島灣内餌料鯉ニ依リ六月以後ハ本縣産鯉ヲ使用シ專ラ魚場探見ヲナセリ、然ルニ七月ニ至リテ水溫ノ上昇甚シク魚群ハ各漁場共相當洄游スルモ多クハ比較的深層ヲ游泳シ、餌付不良ニシテ釣獲少カリシヲ以テ八月末ヨリ再ビ鹿兒島灣内餌料鯉ヲ使用シ九月中旬ニ至ル迄施行セルモ餌付不良ニシテ漁獲上ラズ、今縣下ノ漁況ヲ通覽スルニ

二月 本縣下當業者ハ本月末ヨリ已ニ始業セルモノ有リテ宮古近海並ニ本島西沿岸ニハ相當魚群ヲ見ルモ荒天多ク出漁意ノ如クナラズ。

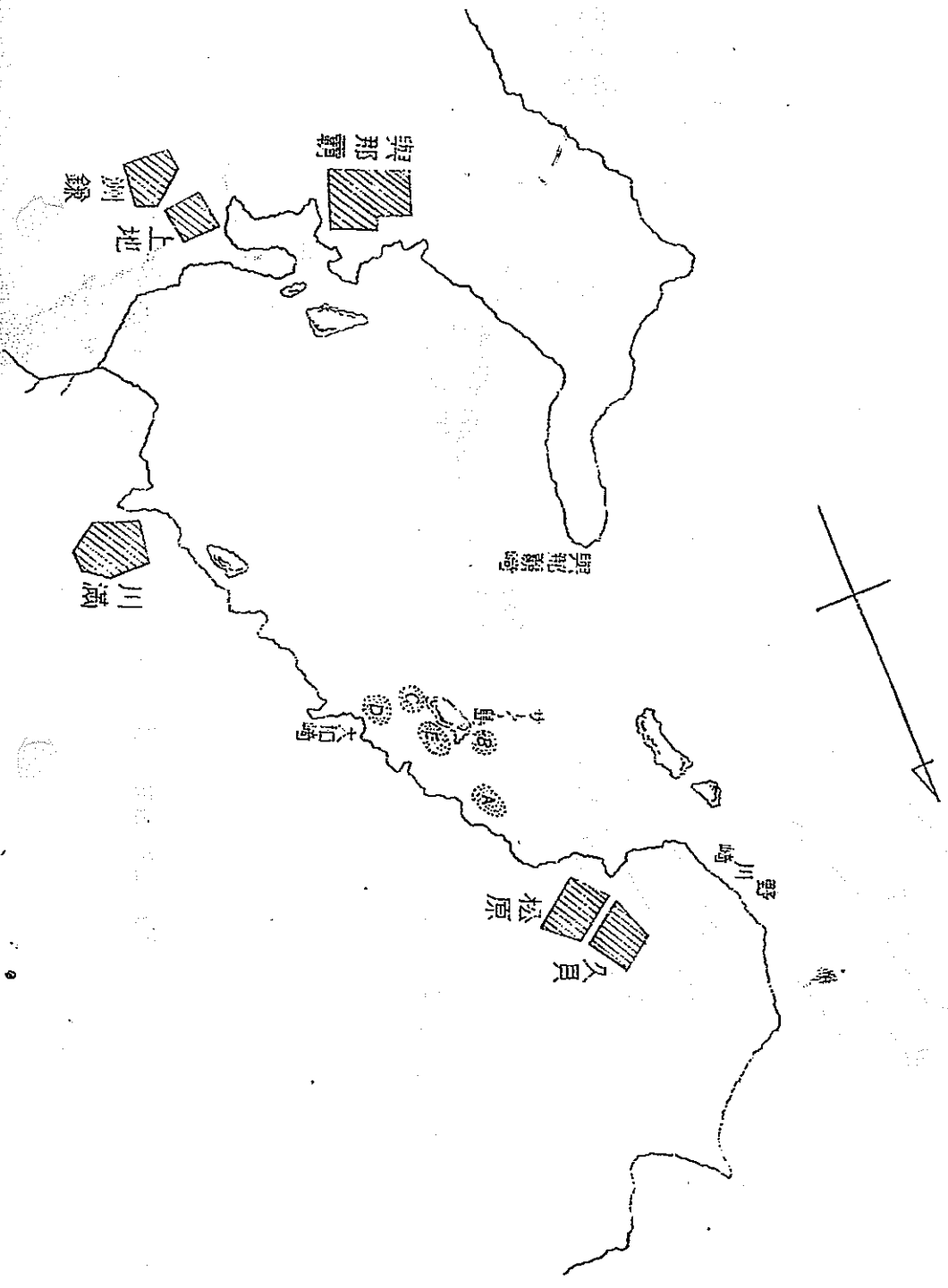
三月 中旬ニ入り殆ド全縣下漁船活動ヲ開始シ船數百一、三十艘ニ達スルモ尙漁事閑散ナリ。

四月 本島近海各漁礁大中判多ク一航海二千斤又八月九千斤ノ漁獲ヲ算スルモ有リ、下旬ヨリ小判漁盛トナリ一隻月小判八千五百斤大中六千斤ノ好漁ヲ示セルアリテ一般ニ豐漁ナリ。

五月 一航海九千斤、月一萬五千斤ノ好況ヲ傳フル漁船ヲ見ルニ至リ主トシテ久米島及粟國近海ニ漁事多ク又大九曾根方面ニハ大中判ノ漁獲盛ナリ。

六月 本月モ引續キ好況ニシテ良ク八千斤ノ水揚ヲナセルアリ多クハ大判ニシテ二十斤ヲ超ユル飛大交リノ漁獲アリ。

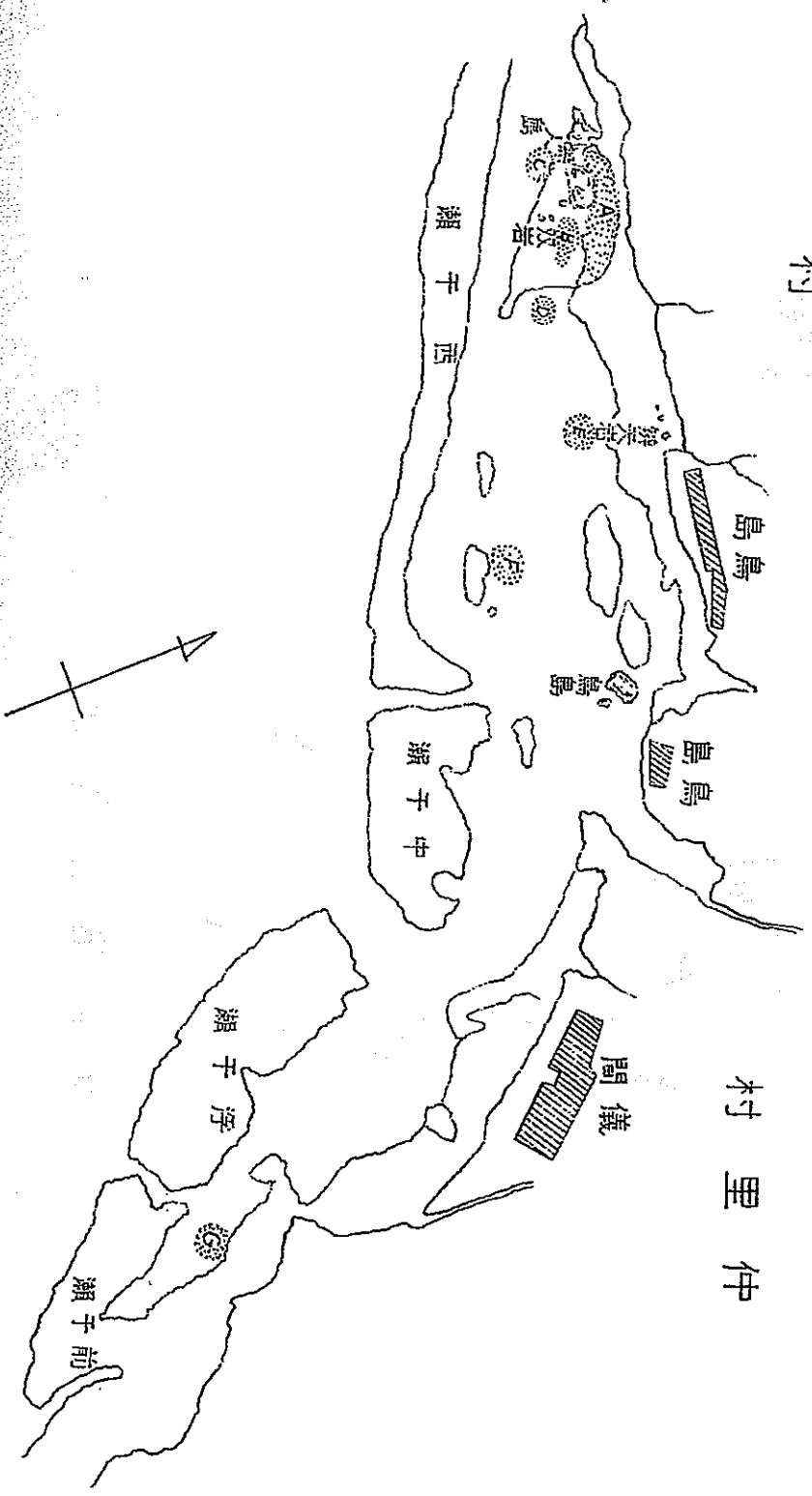
先地原松町良平郡古宮



島尻郡志川仲里村先地圖

具志川村

仲里村



七月 本月ニ入り水溫甚シク上昇シ漁況頓ニ衰ヘ最モ多キ漁獲船モ月五千斤ニ足ラズ、但シ他府縣船殊ニ鹿兒島船ニ於テハ前月ニ引續キ赤尾島、魚釣島ノ百尋線近海ニ於テ小、中判ヲ好漁セリト。

八月 水溫普遍的ニ上昇シ漁事全ク無ク休業状態ノ地方多シ、尙魚群ハ久米島、栗國島近海ニ相當游泳セルモ水溫過高ノタメ餌付悪ク荒天勝ニテ一箇月釣上一千尾ヲ最高トス、但シ與那國西表島近海ニテハ中、小判ノ多獲ヲ續ケタリ。

九月 初旬一時漁況順調ニ向ヒタルモ中旬ニ於テ餌料不足ヲ告ゲ、先島近海伊平屋附近ニ餌付良好ノ大、中判ノ群游ヲ見ルモ漁事ハ思ハシカラズ。

十月 各漁場共魚群ヲ認ムルモ何レモ餌持ニテ餌付悪ク水揚閑ナリ。

十一月 依然漁事恢復セズ漸ク月百斤乃至二百斤ノ釣獲ニテ殆ンド經費ヲ償フニ足ラズ。

十二月 初旬ニハ殆ド終業セリ。

琉球丸航海別漁業日誌表

航海順次	船名	出漁期		餌場	魚種	餌數	漁獲種類	漁獲尾數
		出入月日	日數					
1	那覇發鹿兒島灣内餌料艦返出漁 シ那類ニテ魚揚ス	4月28日 5月7日	17日	鹿兒島灣内	たれくち	4	かつをび	1,027 62
2	那覇發鹿兒島灣内餌料艦返出漁 シ山川ニ魚揚ス	5月3日 5月17日	10日	同	ひさび	4	同	257 20
3	山川發向所餌料艦ニテ出漁シ那類 ニ魚揚ス	5月18日 5月22日	5日	同	同	4	同	1,105 307
4	那覇發鹿兒島灣内餌料艦ニテ出漁 那類ニ魚揚ス	5月25日 6月4日	11日	同	たれくち	4	—	—
5	那覇發本縣發餌料魚ニテ出漁那類 ニ魚揚ス	6月23日 6月24日	2日	那覇港外	するる	5	かつをび	20 115

6	同		6月28日 6月29日	2日	同	同	同	4	—	—
7	同		6月30日 7月1日	2日	同	同	同	7	—	—
8	那覇發大馬産餌料ニテ出漁ヲ那覇ニ魚揚ス		7月4日 7月7日	4日	大馬燒内灣	ぐるぐん	6	—	—	—
9	前回特越餌料ニテ出漁ヲ那覇ニ魚揚ス		7月8日 7月11日	4日	前回ノ特越			—	—	—
10	同		7月14日 7月15日	2日	同			かつを	104	—
11	那覇發本縣産餌料魚ニテ出漁ヲ那覇ニ魚揚ス		7月20日 7月21日	2日	那覇港外	するる	6	同	220	—
12	同		7月25日 7月27日	3日	同	同	6	—	—	—
13	同 酸栗利用活魚運搬試験ヲ兼テ行フ		8月18日 8月20日	3日	前慶良間	同	4	—	—	—
14	那覇發鹿兒島灣内餌料搬込出漁ヲ那覇ニ魚揚ス 酸栗利用活魚運搬試験ヲ兼テ行フ		8月25日 9月8日	15日	鹿兒島灣内	たれうち	4	—	—	—
15	前回特越餌料ニテ出漁ヲ那覇ニ魚揚ス		9月9日 9月10日	2日	前回ノ特越			—	—	—

琉球九漁場別漁業日誌表

漁月日	漁時時刻	漁場	漁場状況			漁獲物			摘要
			天候	風	潮	水温	かつを	まぐろ	
5月5日	AM 11h 30m	(イ) 硫黄島湾 N 10里	B	S 3	NE	21.1	小 186尾	62尾	
5. 6	PM 1h 00m	(ロ) 久米島 N 7里	C	NE ₁	E	23.0	小 55	—	
5. 6	PM 2h 30m	(ハ) 久米島 NW 2里	C	NE ₂	E	23.1	小 787	—	

5. 16	AM	Sh 30m	(=) 口之島 NW 5哩	B	NE _g	E	21.7	小	44	30
5. 16	AM	11h 00m	(#) 同上	B	NE _g	E	21.7	小	213	—
5. 20	AM	8h 00m	(~) 旋葉島 SW 8哩	C.R	W ₃	E	22.4	小	230	97
5. 20	PM	1h 30m	(ト) 相之會根、伊平屋會根中間	C.R	SW ₃	SE	22.2	小	105	95
5. 20	PM	4h 30m	(チ) 同上	C.R	SW ₃	SE	22.3	小	740	115
5. 21	PM	5h 30m	(リ) 久米島 SW 2哩	R	SE ₃	SE	23.5	小	30	—
6. 24	AM	9h 30m	(キ) 栗國島 SW 1哩	C	NE ₄	SW	25.2	小	20	ブー ク 115
7. 14	PM	4h 00m	(カ) 栗國島 W 10哩	B	E ₃	—	28.5	大	104	—
7. 20	PM	4h 30m	(キ) 久米島 SW NE 2哩	C	S ₂	S	27.5	小	220	—

琉球九鯉漁業試験日誌

第一航海

四月二十三日 那覇港ヲ出帆シ鹿兒島ニ向フ。

四月二十五日 鹿兒島灣山川ニ寄港シ釣竿ヲ積込ノ上鹿兒島港碇泊餌料購入ノ豫約ヲナス。

四月二十六日 出漁準備ヲ整ヘ餌場櫻島ヘ廻航ス。

四月二十七日 早朝餌料罾四籠ヲ積込ミ出漁ス、但シSEノ風強ク、加之機關ノ故障度々起リ充分ノ探査ヲナス能ハズ。

四月二十八日 辛ジテ諏訪島近海迄航走セルモ天候險惡トナリ、屋久島一湊ニ引返シ碇泊ス。

五月四日 天候恢復セシテ以テ同港拔錨シ諏訪、悪石、竇、横當等ノ漁礁ヲ探索ス、水色良好表面水温二十三度五、六分ナレドモ魚群ヲ見ズ。

五月五日 午前十一時半硫黄島N十渥ノ沖合ニテ鮪交リ鰹群ニ會フ、投餌スレドモ餌付不良、水温廿一度一分ナリ、其儘航續十二時頃曳繩ニテ釣獲セルヲ機トシテ餌付シ鰹百八十五尾、鮪六十二尾ヲ釣獲シテ伊平屋會根ニ向フ、午後九時頃ヨリ伊平屋島近海ニ漂泊ス。

五月六日 早朝始動シ粟國島、久米島島近海ヲ調査スルモ魚影ヲ認メズ、午後一時久米島北七渥沖ニテ魚群ヲ見シモ餌付不良ニシテ小判鰹五十五尾ノ漁獲ヲナシ更ニ久米島NW二渥ノ沖ニテ小判群ニ會フ、餌付良ク七百八十七尾ヲ揚ゲ餌料盡キ久米島製造場ニ魚揚ヲナス。

五月七日 那覇ニ歸港ス。

第二 航海

五月八日 那覇發山川へ向フ。

五月十日 山川港ニ投錨ス。

五月十二日 同港ニテ餌料真鱈(ひらこ)四籠ヲ積ミ早朝發シテ口ノ永良部島近海ニ至ルモ魚群ヲ認メズ。

五月十三日 天候不穩トナリ屋久島一湊港へ避難ス。

五月十六日 同港拔錨午前八時半口ノ島近海ニテ小判群ヲ認メ鰹四十四尾、鮪三十尾ヲ釣獲ス、附近一般ニ烏卷多キモ餌付悪シ、午後二時半頃迄數回流シ合計二百十三尾ノ小判鰹ヲ釣り餌了へ山川ニ引返ス。

五月十七日 山川港著漁獲物ヲ賣却シ餌料購入ノ約ヲナス。

第三航海

五月十八日 早朝眞鯷四籠ヲ活ケ山川ヲ出帆ス。

五月十九日 七島各漁礁ヲ調査スルモ魚群ニ會ハズ、水溫二十一度乃至二十三度ナリ。

五月二十日 硫黃島SW八湊ノ所ニテ小判魚群ニ會ヒ餌付稍良ク鯨二百三十尾、鮪九十七尾ヲ揚グ、更ニ南進シテ相之會根ト伊平屋會根トノ中間附近通過ノ際正午魚群ヲ認ムルモ何レモ餌付良好ナラズ鯨百五尾、鮪九十五尾ヲ漁獲セリ海況良キ爲尙見廻ヲ續ケ四時頃一流鯨七百四十尾、鮪百十五尾ヲ得、伊平屋會根ニ向フ午後十一時ヨリ伊平屋附近ニ漂泊ス。

五月二十一日 早朝大正會根ニ向フ同會根ニハ鯨群充滿スルモ餌付至ツテ惡シ、但シ天候CR、風SE、潮流SE、水溫二十三度ナリ。

粟國島ヘ針路ヲ取ルモ魚影ヲ認メズ、久米島SW二湊沖ニ至リ午後五時半小判鯨ニ會ヒ餌付不良ニシテ僅カニ鯨三十尾ヲ釣り餌料ヲ終了シ久米島製造場ニ魚揚ス。

五月二十二日 那覇ニ著ス。

第四航海

五月二十五日 那覇發鹿兒島ニ向フ。

五月二十六日 天候惡ク大島古仁屋ニ避難ス。

五月二十八日 山川ヘ向ケ同港出帆ス、尙波浪高シ。

五月三十日 山川ニ入港ス。

五月三十一日 餌料罾四籠ヲ得テ出漁ス。

六月一日 七島、大島、近海各漁場共魚影ヲ認メズ、但シ天候C、風S、潮SE、水溫二十四度五、六分ナリ。

六月二日 中之會根附近ニテ鳥卷ニ會ヒ投餌スルモ魚足早ク餌付困難ナリ、但シ天候B、風SE、潮SE、水溫二十五度三分ナリ、大正會根近海ハ魚群ナシ更ニ南下ス。

六月三日 第二琉球會根ヲ探查スルモ魚群ヲ見ズ天候悪ク久米島ニ避難ス、餌料斃死甚シ。

六月四日 風力六テ示シ餌料殆ンド死滅シ繫船モ困難トナリ那覇ニ直航避難ス。

集魚燈試験及海洋觀測ノ爲本試験ヲ中止ス。

第五 航海

六月二十三日 早朝那覇港外ニテする五籠ヲ積ミ出帆ス、喜屋武岬S二十湮沖ニ至リ續イテSWニ二十五湮航走シ、

尙Wニ三十湮進ミテ鰹ヲ探見スルモ魚群ヲ見ズ、但シ天候B、風S、水溫二十四度乃至二十五度五分ナリ。

六月二十四日 午前九時半栗國近海ニテ鳥卷ニ會フ餌付悪ク惣太鰹百十五尾、鰹二十尾ヲ得タルノミニテ餌盡キ那覇ニ歸港ス、但シ天候B、風N4、水溫二十五度ナリ。

餌料不足ノ爲當分休漁ス。

第六 航海

六月二十八日 午前六時那覇港外ニテする四籠ヲ得テ漁場へ向フ、慶良間島SSW十五湮沖續イテ大九會根共ニ小判群ノ餌付ニ苦心セシモ餌付悪ク漁事皆無ニシテ第二琉球會根ニ向フ、但シ天候B、風S3、水溫二十六度乃至二十六度六分ナリ。

六月二十九日 午前六時半第二琉球會根ニ於テ大判鯉群ノ飼付ヲ行フモ餌付スルモノナシ、又久米島SWニ漕沖ニテ小判鯉ヲ認メタルモ餌ニ付カズ、餌料ヲ終了シ那霸ヘ歸港ス、但シ天候B、風S、潮S、水溫二十七度三分乃至二十八度二分ナリ。

第七航海

六月三十日 那霸港外ニテする七籠ヲ活ケ久米島西方ニ向フ、午後四時同所近海ニテ鳥卷ヲ見投餌スルモ餌持魚ニシテ餌付無シ依リテ久米島東岸ニ假泊ス、但シ天候B、風S、潮S、水溫二十七度六分ナリ。

七月一日 前日ノ漁場ヲ見廻リシモ魚群ヲ認メズ、十一時粟國島ニ向フ途中魚群ヲ見ズ午後八時那霸ニ入港ス、但シ天候B、風S、水溫二十七度七分ナリ。

第八航海

七月四日 本縣近海餌料漁獲ナク大島ニ漁獲アル旨通報ニ接シ那霸拔錨大島ニ向フ。

七月五日 大島燒内灣ニ投錨ス、午後四時ぐるくん六籠ヲ入レ出帆ス。

七月六日 沖永良部東海ヲ探査中機關故障ノタメ那霸ニ向フ。

七月七日 那霸歸港。

第九航海

七月八日 出漁渡名喜島西十哩ノ所ニ鯉群ヲ認ムルモ餌ニ付カズ、午後四時久米島近海ニテ鳥卷ニ會ヒタルモ餌付悪ク漁事ナシ久米島西近海ニ漂泊ス。

七月九日 早朝ヨリ午後七時頃迄久米島西北竝ニ第二琉球會根近海ヲ探査セシニ相當ノ魚群アルモ餌付悪シ、但シ天候

B、風SW、潮W、水溫二十八度四分乃至二十九度二分ナリ。

七月十日 宮古會根西、大九會根等島巻モナシ、午後六時半南大九會根ニ於テ魚群ニ會フモ餌付不良ニシテ漁獲ナシ、但シ天候B、風S、潮SE、水溫二十八度四分乃至二十九度ナリ。

七月十一日 波浪高ク天候險惡ニテ那覇ニ歸港ス。

第十航海

七月十四日 六時半持越餌料ニテ粟國近海ヘ向フ、約三時間附近ヲ見廻リ午後四時粟國島W十哩ノ所ニ大判魚群ヲ餌付百四尾ヲ得餌料終了シ、即日久米島製造場ニ魚揚ス。

七月十五日 那覇ヘ歸港ス。

第十一航海

七月二十日 那覇港外ニテするる六籠ヲ積込ミ出帆ス、粟國島ノ近海ヲ探査スルモ鳥巻ヲ見ズ更ニ久米島ニ向ヒシガ小判群ニ會フモ餌付悪シク四時頃ヨリ六時半頃迄ニ三流シテ漸ク二百二十尾ヲ釣獲シ、餌盡キ漁獲物陸揚ノタメ久米島ニ入港ス。

七月二十一日 那覇ニ著ス。

第十二航海

七月二十五日 八時半するる六籠積込出帆セシモ、途中機關ニ故障起リテ慶良間ニ投錨停泊セシタメ、餌料全滅シ止ムナク那覇ニ向フ。

七月二十七日 那覇ニ歸航ス。

第十三航海

自八月十八日至八月二十日間、餌料醃酸素利用運搬試験ヲ施行ス。

第十四航海

八月二十五日 那霸出帆鹿兒島ニ向フ。

八月二十六日 荒天ノ爲メ古仁屋ニ避難ス。

八月二十七日 同所拔錨。

八月二十八日 鹿兒島ニ入港ス。

八月二十九日 餌料購入ノ約ヲナス。

八月三十日 機關故障ヲ生ズ。

八月三十一日 機關修繕ヲナス。

九月一日 櫻島ニテ餌料積込ト同時ニ酸素注入試験ヲナシツツ漁場ヘ向ケ出帆ス。

九月二日 天候險惡ニテ屋久島一湊ニ避難ス、餌料死滅甚シ。

九月四日 午前五時半同所拔錨七島各漁場共魚群ヲ見ズ、但シ天候B、風W、水溫二十八度一分乃至二十九度二分ナリ。

九月五日 荒天ニテ大島燒内灣ニ避難ス。

九月六日 午前六時半出帆硫黄島ニ向フ、夕方同島附近ヲ旋航セシモ魚群ヲ認メズ、但シ天候B、風N、水溫二十八

度ナリ。

九月七日 伊平屋會根近海モ魚群ナシ、但シ天候B、風N、水溫二十八度五分ナリ更ニ粟國島方面ニ至リ午後三時ヨリ

五時半迄大判鯉群ノ飼付ニ苦心スルモ餌付全クナシ、但シ天候C、風S、水溫二十九度二分ナリ。

九月八日 前日ノ漁場ヲ調査スルモ波高ク魚群ヲ認メズ那覇へ歸港、但シ天候B、風N、風力六、水溫二十八度七分ナリ。

第十五航海

九月九日 午前八時半那覇發喜屋武岬S三十湊沖附近ヲ調査スルモ魚群見當ラズ、但シ天候B、風N5、水溫二十八度七分ナリ、更ニ光德會根ニ至リ魚群ニ會フモ波浪高ク餌付不良ナレバ北上粟國ニ向フ。

九月十日 粟國近海漁場モ同様波高ク鳥影ヲモ認メザレバ那覇ニ歸港ス。

一、水溫觀測ノ結果

本漁業試驗中觀測セル表面水溫ニ就キ自鹿兒島至宮古線附近ノモノヲ比較研究スルニ四、五月ノ交ニ於テハ本縣近海ヨリモ七島近海高溫ナリ。

從來四、五月ノ交ニ於テハ鯉漁場トシテハ本縣近海ヨリモ七島近海が優越セル情勢ナルガ、水溫關係ニ起因スルニアラザルカ他日ノ調査ヲ俟タントス。

鮪延繩漁業試驗

一、施行方法及經過

前年ニ繼續シテ施行ス、本年度鮪漁業試驗ハ指導船圖南丸建造並ニ航海準備等ノタメ著手遅シ、亦三月初ヨリ鯉漁業試驗ニ取掛リシ關係上、試驗期間ハ短カカリシモ操業區域ハ比較的廣汎ニ互リシテ以テ、斯業經營上ノ新資料トナルモノ尠カラズ。